

名古屋大学年代測定総合研究センター教員公募要領

1 公募職種 名古屋大学年代測定総合研究センター
新年代測定法開発研究分野教授（1名）

2 採用予定年月 平成24年4月以降の出来るだけ早い時期

3 応募資格・要件

（1） これまでに年代学研究に関連する優れた業績があり，新年代測定法開発研究分野に属し，当該分野の教員と連携・協力して，年代学研究を推進できること．

（2） センターが推進してきた年代学研究に従事するとともに，組織運営に積極的にかかわり，センターの発展に貢献できること．

（3） 全学教育科目等の授業および大学院教育を担当できること．

（4） 博士の学位を有すること．

（5） 日本語で教育が行えること．

4 提出書類

（1） 履歴書（写真を添付すること．）

（2） 研究業績一覧（一覧に加えて，著書・学術論文のうち，主要なもの5編について別刷りまたはコピーを添付のこと．）

（3） これまでの研究業績，教育業績，社会的貢献の概要（合わせて2000字程度でまとめること．）

（4） 就任後の抱負（年代測定総合研究センターにおける教育研究のあり方と将来計画等について，1500字程度でまとめること．）

（5） 外部資金の取得状況およびその他参考となる事項

5 応募締切 平成24年1月31日（火）必着

6 選考方法

選考委員会による書類審査をもとに，名古屋大学年代測定総合研究センター運営委員会で最終候補者を選考する．なお，場合によっては選考委員会で面接を行うこともある．

7 問い合わせ先

名古屋大学年代測定総合研究センター 中村俊夫
(連絡先 nakamura@nendai.nagoya-u.ac.jp)

8 応募書類送付先

〒464-8602 名古屋市千種区不老町

名古屋大学年代測定総合研究センター

電話：052（789）2579，FAX：052（789）3092

(応募書類の封筒に「教授応募書類在中」と朱書し，簡易書留で郵送のこと)

個人情報とは本件以外のことには使用しません。なお，提出書類は原則として返却しません。

9 名古屋大学は男女共同参画を推進しています。業績等（研究業績，教育業績，社会的貢献，人物を含む）の評価において同等と認められた場合には，女性を積極的に採用します。

(参考)名古屋大学年代測定総合研究センターの概要と構成

名古屋大学年代測定総合研究センターは，平成12年4月1日に学内共同教育研究施設として創設されました。これは，平成2年6月8日に発足した年代測定資料研究センターを改組したものです。

年代測定総合研究センターは，タンデトロン加速器質量分析計を用いる放射性炭素¹⁴C年代測定法により考古学・文化財科学関連資料や地質学関連試料の年代測定研究を推進する「タンデトロン年代研究分野」と電子プローブマイクロアナライザーを用いるウラン・トリウム・鉛年代測定法により古い岩石試料の年代測定や新しい測定法の開発研究を推進する「新年代測定法開発研究分野」から構成されます。5名の教員が相互に連携をとりながら，多様な研究を進めると共に，環境学研究科の地球史学講座（協力講座）で，大学院教育に携わっています。

(1) タンデトロン年代研究分野

教授 中村俊夫：第四紀年代学・文化財科学・加速器分析科学（センター長）

准教授 南 雅代：地球化学

助教 小田寛貴：文化財科学・放射化学

(2) 新年代測定法開発研究分野

教授 （今回の公募）

准教授 加藤丈典：地質年代学・岩石学

名古屋大学年代測定総合研究センターのこれまでの諸活動については，ホームページ（<http://www.nendai.nagoya-u.ac.jp/>）をご覧ください。